



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和 6年 3月 1日
第 13 号
さいたま市立日進中学校
TEL 048-663-1251
FAX 048-663-0834

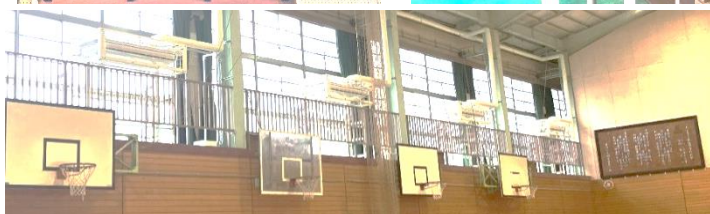
『親』

校長 小熊 誠

3月に入りました。令和5年度も集大成を迎えようとしています。3年生、15歳の勝負を終え、15日後に迫ってきている、中学校、義務教育最大の行事である卒業証書授与式に向け、心も体も整え始めています。いよいよ旅立ちの時です。2年生、9日から始まる、中学校で最初の宿泊行事である、「館岩自然の教室」に向け、準備万端の状態です。日進の「味」から「顔」へ進化の時です。1年生、先輩と呼ばれる日に向け、準備の真っ最中です。若葉マークから「味」への一步を踏み出す時です。今、日進は、令和6年度に向けて、大事な節目の時を迎えています。そんな中、今月は、「親」についてお話したいと思います。

私の両親は、幸いまだ二人とも健在です。私は一人っ子ですが、結婚をしてからは、離れて暮らしています。オヤジにもオフクロ（あえてこう呼ばせてください）にもさんざん迷惑をかけ、言い尽くせないぐらい世話になっています。たくさん心配をかけ、たくさん謝ってもらいました。そんな私も今年還暦を迎えるいい歳になりました。しかし、オヤジとオフクロにとっては、いつまでたっても「子ども」のようです。たまに実家に戻ると、オフクロは、「飲みすぎるな」「早く寝ろ」「連絡しろ」、まるで子ども扱いです。小うるさくもあり、懐かしくもあり、複雑な気持ちです。オヤジは、昭和一桁頑固一徹、私の言うことなど一切聴こうとしませんし、私の世話など絶対受けないと豪語していました。ところが、そんなオヤジの具合が悪くなりました。あんなに強く、激しかったオヤジが、私に「悪いな」「迷惑かけるな」と涙ぐんで話します。正直私にとって怖くて、大きな存在でしたが、背中が小さく見え、背負うと軽い体、なんだか寂しさを感じました。そんなオヤジとオフクロに私がまだ言っていないことがあります。それは、「ありがとう」という言葉です。私は、オヤジとオフクロには心の底から深く感謝しています。しかし、恥ずかしながら、今まで面と向かって目をみてしっかりと口に出して言ったことはありません。私は、3年生との面談練習の中で、卒業まででいいので、御世話になった方々に、しっかりと目を見て「ありがとう」と口に出して伝えてほしいと話しています。実はこれは、私自身に向かって発した言葉でもあります。残念ですが、私も含め、生徒たちも、皆様も、何かがないと、オヤジとオフクロ、すなわち自分の「親」と正面から向き合うことは難しいかもしれません。まさに今、大事な節目を迎えている日進。生徒たちには、この機会に「親」と向き合い、「ありがとう」を言ってみようと話しています。特に3年生には、今が、「親」に心から、真正面から「ありがとう」と言える最大のチャンスであり、言えたその日から、本当の親離れ、旅立ちが始まるのかもしれないと伝えたいと思っています。そして私自身も、今こそ長年ため込んでいた「ありがとう」を、感謝の気持ちを「親」にぶつけ、前に進むつもりです。保護者・地域の皆様も節目節目に御自身の「親」を思い浮かべ、真正面から「ありがとう」を口に出して言ってみてください。きっと絆がさらに深まり、感謝の心を力に変え、一步前に進めるはずですよ。

3月15日（金）第77回日進中学校卒業証書授与式、日進が、たくさんの「ありがとう」で溢れることを楽しみにしています。そしていよいよ右の11機の空調も可動します。御期待ください。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校